

DISCLOSURE 2019.6

2019年度第1四半期(2019年4月1日～6月30日)における経営情報を開示します

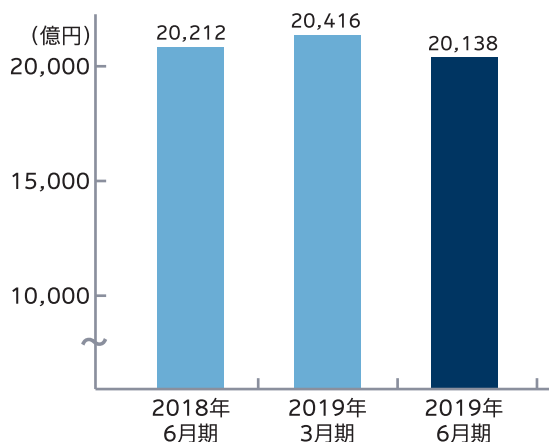
(注)この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数については、会計監査人による監査を受けていません。数値は原則単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとの合計の数値が一致しない場合があります。なお本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。

西武信用金庫

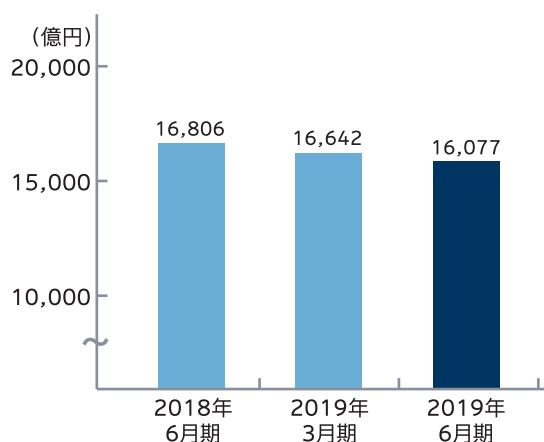
預金・貸出金の状況

預金残高は、前年同期比で73億円減少し、2兆138億円となりました。貸出金残高は、前年同期比で729億円減少し、1兆6,077億円となりました。

●預金残高 2兆138億円



●貸出金残高 1兆6,077億円



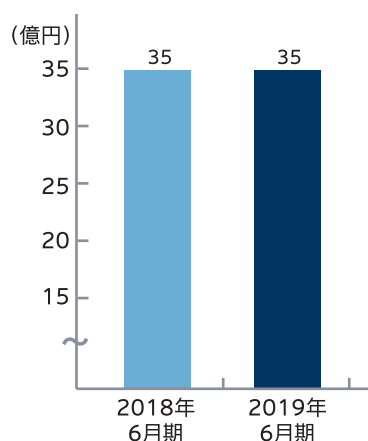
(単位:億円)

	2018年6月期	2019年3月期	2019年6月期	前年同期比
預金残高	20,212	20,416	20,138	△73
貸出金残高	16,806	16,642	16,077	△729
預貸率	83.15%	81.51%	79.83%	△3.32ポイント

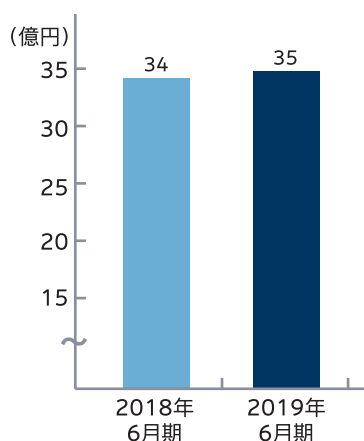
損益の状況

コア業務純益は35億円、経常利益は35億円、当期純利益は25億円を計上し、堅調に推移しました。

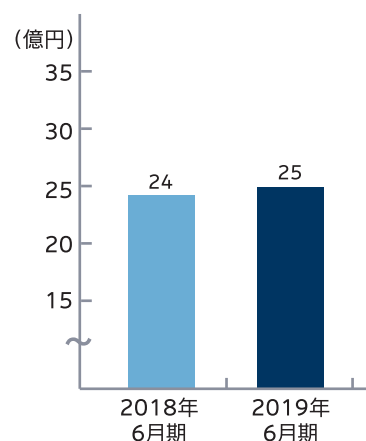
●コア業務純益 35億円



●経常利益 35億円



●当期純利益 25億円



(単位:億円)

	2018年6月期	2019年6月期	前年同期比
コア業務純益	35	35	△0
経常利益	34	35	1
当期純利益	24	25	0

コア業務純益とは？

本業のもうけを示す営業利益にあたる業務純益から国債の売買など一時的な変動要因を除いたもの。貸出業務など金融機関の本来の収益力を表します。

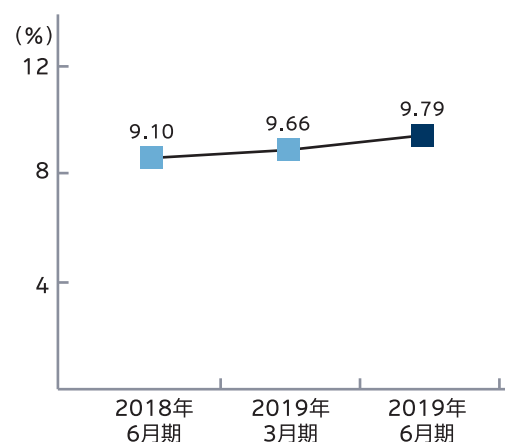
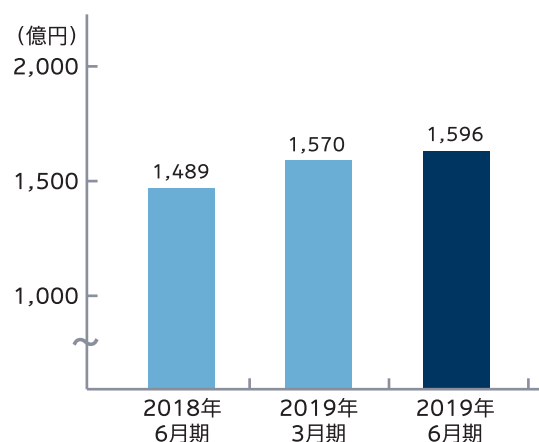
自己資本の状況

(国内基準)

自己資本の額は、利益等の積み上げにより前年同期比で107億円増加し1,596億円となりました。自己資本比率は、前年同期比で0.69ポイント上昇し9.79%と金融機関の健全性を示す国内基準4%を大きく上回っています。

●自己資本の額 1,596億円

●自己資本比率 9.79%



(単位:億円)

	2018年6月期	2019年3月期	2019年6月期	前年同期比
自己資本の額	1,489	1,570	1,596	107
自己資本比率	9.10%	9.66%	9.79%	0.69ポイント

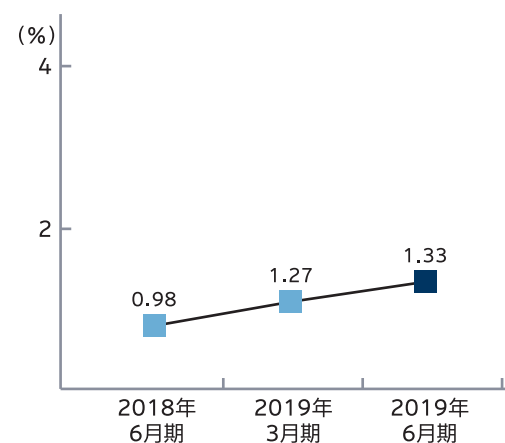
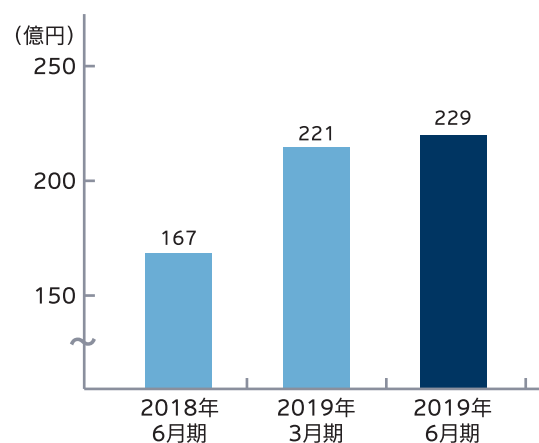
不良債権の状況

(金融再生法開示債権)

不良債権残高は229億円、不良債権比率は1.33%と低水準です。

●不良債権額 229億円

●不良債権比率 1.33%



(単位:億円)

	2018年6月期	2019年3月期	2019年6月期	前年同期比
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	20	24	36	15
危険債権	135	187	184	49
要管理債権	11	9	8	△2
不良債権合計	167	221	229	62
不良債権比率	0.98%	1.27%	1.33%	0.35ポイント

有価証券の評価損益

有価証券の評価損益は、前年同期比で5億円増加しました。

(単位:億円)

	2018年6月期		2019年3月期		2019年6月期		前年同期比	
	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益
株式	44	6	40	3	30	2	△14	△3
債券	330	2	297	2	285	2	△45	△0
その他	659	△4	556	6	543	5	△116	10
合計	1,035	4	893	12	858	10	△176	5

(注)その他＝投資信託・優先出資・外国証券・投資事業有限責任組合契約等への出資・買入金銭債権